

レーシングカート 体感速度 時速 200Km オーバーの世界



一般に言う、ゴーカートと違い、レースのためのマシンです。
一人のりで 125CC の 2サイクル、水冷エンジンで1分間に最高 13,000 回転します。実際のスピードは時速 100Km オーバーですが、車高が4~5Cmと低い為、体感速度は、だいたい2倍の約 200Km ぐらいになります。
走行中のコーナーでの横重力は2~3G(体重の 2~3 倍)程度かかります。
専用サーキットで全長740mのコースを連続でレースでは、20~30周を走ります。
レース中はかなりきついです。

選手間どうし安全、危険回避のために、座学と実地の試験を受けて専用ライセンスを取得し、参戦出来ます。レースに関しては、F1 と同じくらい規則は非常に厳しいです。

ライセンスは国内 C から国際 A まであり、私は運よく国際 C まで取得できました

私がカートを始めたのは51歳からで超遅咲きカーターでした。

モータースポーツの世界を全く経験なしで17年前、甥の誘いで岡山県の東にある和気の中山サーキットに見学に行ったのがきっかけでした。私にはワクワクする気持ちが湧いてきて、さっそく福山にある河上レーシングシステム(KRS)にお世話になることにして、1年間オーナの指導のもと、猛練習を重ねて、やっと2006年3月にレースデビューが出来ました。

コース上のグリッドに各車予選順に並び、スタートの瞬間が最高に高揚します。
そしてレースを完走してチェッカーフラッグをうけた時は何とも言えない充実感です。

地方選手権 全日本選手権を5年間出場して成績は2位表彰どまりでしたが、その後レースをした仲間が成長して国内での本格的なカーレースで活躍しているのをテレビなどで見ては楽しんでいます。

私は、現在マイカートで楽しみながら1ヶ月に1回程度、中山サーキット趣味で走っています。
もし、レーシングカートに詳しい方がおられましたら、ご意見ご感想頂ければ幸いです。



サーキットでのレースでスタート直後！



お爺さんカーター
高戸慶祐